

今年度 園長より 幼稚園の教育については、保育中の担任の思い、幼児のかわいい裏話などを掲載していく予定です！

平成 29 年 5 月から開始します！

## No.1 「小学校 5 年生と年長組の交流」 平成 29 年 5 月 2 日（火）

○園庭にあるサクランボの 1 本の木。だんだんサクランボが赤く色づいてきています。毎年、枝から直接サクランボを収穫することになっています。それには幼児の身長では届かず、いつも併設の麻布小学校 5 年生の力を借りています。交流活動としては最適な活動だと思っています。5 年生にとっても幼児と関わるのが初めての児童もありますが、何をすればいいのかわかりやすい活動です。5 年生にとってもサクランボの収穫という楽しい活動でもあります。そして幼児にとっても楽しい活動です。そのうえ、5 年生に抱っこやおんぶしてもらったり、枝を下げてもらったりして収穫するのでとっても喜ぶます。5 年生の頼もしさ、優しさ、背の高さなどを感じる活動です。

以下は連休前の写真です。だいぶおいしそうなさくらんぼになって来ています。しかし、まだ食べられるほどの数ではないので、ちょっぴり心配ですが、連休後まで交流活動を伸ばすことにしました。



○ところが、本日 5 月 8 日（月）朝、園庭に出た用務主事さんと園長の私。「あっ！！サクランボが食べられている！！ほとんどない！」

とびっくり。年長組担任もがっかり。「どうしよう。きく組は楽しみにしているのに…5 年生も明日来ることになっているし…」。

職員朝会でさっそく話し合い。「食べちゃった、鳥を悪く言うのはやめよう。だって鳥だって死活問題だもの」「正直に子どもに見せて、明日の 5 年生との交流もどうするか話し合ったら？」とほかの教員。「残っているほんの少しのさくらんぼをどうすればいいか聞いてみます」と担任。さっそく子どもたちに話すとみんなサクランボの木に駆け寄り、いろいろのアイデアが出てきます。（上記の写真）「残ったサクランボを守りたい！」ときく組。そこでアイデアを出し合いました。左の写真を見てください。「私知ってる。キラキラしているものを下げると鳥が来ないって」「なるほど。じゃあ、案山子をつくれれば？サクランボを守ってくれるよ、きっと！」ということで早速作りました。このように子どもたちの『考える力』『作って試す力。気持ち』にはこの活動は大きな意義ある活動になりました。



<園長より一言>確かにサクランボという自然が相手の活動の計画は難しいもの。しかし、年長組の担任と子どもたちはこれらの楽しい事件！を受け止め、考えて、自分たちが納得する活動にしました。明日の交流はどうなるのでしょうか？また、先生と子どもたちのアイデアが出てくることでしょう。楽しみです！